

これがトータルの排気へのこだわり。だからこそ、ワンオフ。

# 大切にしたいのは、Zの特性と オーナーの狙いを両立させること。

**既**成のパーツをそのまま取り付けることがチューニング？ というテーマを常に持ち続けているチューナー、ガレージトータル小里さん。排気系に対する考えも同じで、オーナーが違えば、必要な排気系はそれぞれ違うのではないかと、いう考えから、これまであらゆる車種で、ワンオフマフラーの製作を手掛け、あらゆる要望に応えてきた。

もちろん、Z33でもそれは同じこと。小里さんの作る排気系のよさは評判となって伝わり、今ではすっかり、スペシャル排気パーツの作り手として名を馳せている。だが、根底にあるのは、そのクルマ、オーナーにとって、何がベストなのかという探求心だ。今回の新作も同様で”Zのユーザーが望んでいるのは、いい音。極限のパワーよりも、気持ちよく走れること”そう判断したからこそ、このマフラーが生まれ出された。もちろん、これでも満足できないという人もいるだろう。でも、問題はない。ない物を作り出すことこそがトータルの考えるチューニングである。もし、欲しいマフラーがないという人は相談してみるといい。きっと納得できる答えを用意してくれるはずだから。



HR・Z用のエキマニはこうして作られる。専用の治具にフランジを固定し、必要な長さにカットされたパイプを、求められる形に曲げ、溶接していきながら、1本ずつ手作りされる。手作りされるものだからこそ、どんな仕様、クルマにも対応できるという訳だ。日本で職人が手作りするものだからして、価格はそれなりのものになってしまうが、その分、クオリティの高さは既製品とは一線を画する。クルマ好きならこんな贅沢、1度はしてみたいとは思わないだろうか？

●SHOP DATA  
**ガレージ・トータル**  
千葉県柏市船戸1664  
Tel.04-7133-2226  
<http://www.garagetotal.com/>

新作マフラーの実力チェックのためにお邪魔したレーシングサービスTEPS。実はこのお店、Z33に乗るお客さんが多く、ターボからNAチューンまで幅広いチューニングを行った実績を持つ。中でも、これまで知らなかったのが残念でならないほど魅力的なメニューが、35HR改37仕様。35HRにスカイラインに搭載された37VHR用のコンロッドとクランクを移植し、3.7リッター化するというもの。そもそも、35HRが出た時に、

思ったほどの性能ではなかったことに失望したものの、35DEのようなチューニングパーツもなく、どうしようかと悩んでいた中で思いついたメニューなのだという。380RSに匹敵するパフォーマンスが得られる可能性を秘めたチューニングメニューであり、今後、打倒RSの筆頭メニューとして、発展性を見せてくれるかも知れない。380RSを手に入られなかったオーナーには興味深いチューンではないだろうか。

## TEPSで見つけた、!!! なZ33 HR-Zチューンの未来を探る VHR37パーツ移植



お邪魔した時は、完成直後でユーザーカーに搭載されたばかり。その実力はまだ未知数とのことだが、すでにTEPSでは次のエンジンの製作が始まっていて、そちらはオリジナルの高圧縮ピストンによって、圧縮を12.4まで高めた仕様となる。排気量アップ、カム、高圧縮化によって「遅くなる要素は見つからない」と岩橋さんも言うほどの、完成が楽しみなエンジンだ。